

コガモ（カモ科） 全長38センチ

冬鳥として飛来するカモ類のなかで、一番数が多いのがコガモでしょう。

市内では雄物川や玉川の大河川は勿論、支流の小河川や湖沼など多くの水辺で観察されます。数が多いのと地味な色合いで、バードウォッチャーにはあまり注目されません。



上流から流れる浮遊物を探しているようだ。

雄物川支流の丸子川に架かる奥羽本線鉄橋下。ここは福部内川が流れ込む合流点です。

コガモが数十羽、ヒドリガモとカルガモがのんびりと川面を揺らしていた。丸子川の上流近くには窪堰川と川口川、矢島川などが合流するが、いずれの地点にもカモ類が集まっていた。川の上流から流れ込む水質や枯葉など違いにより、流れてくる餌が違っているのだろうか。



側頭部の緑色部分は光によって黒色や紫色に見える。



岸辺に上がり日向ぼっこ。

餌探でしょうか、水面にクチバシを乗せ左右に振りまわしている。

やがてお腹がいっぱいになったのか、流れの緩やかな岸辺に移動し、柳の繁みに身を隠した。



羽の一部分が鮮やかな緑色に。



緑色は三列風切（さんれつかざきり）部分。